

2021年2月16日

信金中央金庫「SCBふるさと応援団」による地方創生事業への取組みについて

本日、富岡市役所において、信金中央金庫創立70周年記念事業「SCBふるさと応援団」にかかわる寄付金の贈呈式ならびに記者会見を行いました。

「SCBふるさと応援団」は、信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫が創立70周年を記念して企画した地方創生支援事業です。具体的には、信用金庫の本店所在地の地方公共団体が信用金庫と連携して実施する地方創生事業に対し、企業版ふるさと納税の仕組み等を活用して1000万円を上限に寄付するというものです。地方公共団体と信用金庫はこの寄付金を活用し、事業期間を3年間とする地方創生事業を行います。ただし、全ての事業が寄付の対象となるものではなく、学術経験者等で構成する信金中央金庫の審査会において採択された事業が対象となります。

当金庫は本店所在地である富岡市と検討を重ね、新型コロナウイルス感染症の影響等により、売り上げが減少するなど事業の継続性に苦慮している事業者に対して、新たなサービスの開発やビジネスモデルの革新、生産性の向上など自走できる企業体質への転換を目的として、専門的なスキルを持った副業人材の活用を促進する事業を計画しました。また、副業人材との関りを通して、関係人口の創出と拡大にもつながる施策を加え、「副業人材を軸とする関係人口創出と市内商工業における新たな事業モデル、経済基盤の構築」を事業名として申請しました。

2020年12月25日に信金中央金庫より本事業が正式に採択となり、信金中央金庫から富岡市に対し1000万円を寄付することが決定しました。2月16日（火）には富岡市役所において富岡市の榎本市長、信金中央金庫の香川部長、当金庫の横山理事長が出席し、香川部長から榎本市長に寄付金額1000万円の目録が贈呈されました。

本事業は令和3年度から令和5年度までの3年間に実施する事業であり、今後は富岡市と当金庫が連携して富岡市内の事業所等に対して説明会を実施するなど、本事業の活用を積極的に推進することとしています。



【本件に関するお問い合わせ先】
しなのめ信用金庫
法人営業部 佐藤・永田
TEL：027-330-1177